

科目 **文学国語**

单位数： 2 单位

(4組：吾妻)

(7組：吾妻)

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

[illegible]

使用教科書：(山川出版社 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。また、資料やデータから歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。また、資料やデータから歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 ・諸資料を通し、なぜ最初の「大戦」になったのか、その要因や戦いの経過を理解する。 ・ヨーロッパを中心とした戦争が日本やアメリカ合衆国にまで拡大した経緯について理解する。 ・諸資料からソ連、アメリカ合衆国の特徴や経済状況について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのように異なっているのか。また、第一次世界大戦後の世界はどのように変化していくかを諸資料から考察する。 ・社会主義の波及を諸外国はなぜ恐れたのかを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦の展開や影響について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。	・第一次世界大戦の展開 ・ソヴィエト連邦の成立 ・アメリカ合衆国の台頭	【知識及び技能】 ・諸資料を通し、なぜ最初の「大戦」になったのか、その要因や戦いの経過を理解している。 ・ヨーロッパを中心とした戦争が日本やアメリカ合衆国にまで拡大した経緯について理解している。 ・諸資料からソ連、アメリカ合衆国の特徴や経済状況について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのように異なっているのか。また、第一次世界大戦後の世界はどのように変化していくかを諸資料から考察している。 ・社会主義の波及を諸外国はなぜ恐れたのかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦の展開や影響について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・ヴェルサイユ条約やワシントン会議における3条約の内容について理解する。 ・第一次世界大戦後の世界の経済状況、特に日本の戦後恐慌の原因と経過について理解する。 ・当時の大衆社会についてグループワークを通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・パリ講和会議、ワシントン会議の各国の立場の違いについて風刺画や史料文から考察する。 ・現在の日本の経済状況と当時の経済状況を相互比較し、考察、表現する。 ・日本や世界の大衆社会の発展が政治にどのように影響を与えたかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦間期の各国の社会経済状況について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。	・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・大衆の政治参加 ・消費社会と大衆文化	【知識及び技能】 ・ヴェルサイユ条約やワシントン会議における3条約の内容について理解している。 ・第一次世界大戦後の世界の経済状況、特に日本の戦後恐慌の原因と経過について理解している。 ・当時の大衆社会についてグループワークを通して理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・パリ講和会議、ワシントン会議の各国の立場の違いについて風刺画や史料文から考察している。 ・現在の日本の経済状況と当時の経済状況を相互比較し、考察、表現している。 ・日本や世界の大衆社会の発展が政治にどのように影響を与えたかを考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦間期の各国の社会状況経済状況について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・ヴェルサイユ条約やワシントン会議における3条約の内容について理解している。 ・第一次世界大戦後の世界の経済状況、特に日本の戦後恐慌の原因と経過について理解している。 ・当時の大衆社会についてグループワークを	・世界恐慌世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日中戦争への道	【知識及び技能】 ・アメリカ合衆国の恐慌と世界がどのように結びついているか、また、恐慌に向けた各国の財政政策について理解している。 ・ドイツのヒトラー政権が大衆から支持を受けた社会的背景、日本・ドイツ・イタリアが連携した目的等について理解している。 ・満州事変以降の戦線拡大の諸要因について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ繁栄の最盛期を迎えていたアメリカ合衆国がこのような事態に陥ってしまったのか				

2 学 期	シートを 通して理解を深めることができ ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・パリ講和会議、ワシントン会議の 各国の立 場の違いについて風刺画や史料文 から考察 している。 ・現在の日本の経済状況と当時の経 済状況を 相互比較し、考察、表現してい る。 ・日本や世界の大衆社会の発展が政 治にどの ように影響を与えたかを考察して いる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦間期の各国の社会状況経済状況 について、 定期考査		米四がこのような事態になつてしまつたの かを写真や諸資料を通して考察している。 ・ファシズムの伸長の要因についてグルーブ ワークやペアワークを通して理解・考察 し、表現することができている。 ・日本軍部の動きについて当時の情勢を整理 し、考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦争の時代に再度突入する展開や流れにつ いて、見通しをもって学習に取り組もうと し、学習を振り返りながら課題を追求しよ うとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・諸資料から、第二次世界大戦の 推移、凄惨かつ長期化した背景 とその情勢について理解する。 ・諸資料から、大戦末期の日本の 状況とそれを取り巻く米・英・ ソの認識、原子爆弾の投下や帝 都空襲、沖縄戦などの背景につ いて理解する。 ・民衆動員が女性や植民地など広 大な範囲で展開されたこと、お よび戦争の被害、組織的虐待な どで一般市民の大規模な犠牲が 生じたことを理解するとともに 、それらの被害に対して一般 民衆はどのように立ち向かつて いったのかを史料から読み解 く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパで始まった第二次世 界大戦にアメリカ合衆国と日本 はどのようにかかわったのか、 開戦を防ぐことはできなかった のか考察し、表現する。 ・グルーブワークを通し、第二次 世界大戦に関与した国々の思惑 や狙いを考察し、表現する。 ・日本における民間被害の実態を 読み解き、その特徴や規模につ いて整理、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第二次世界大戦の展開や影響に ついて、見通しをもって学習に 取り組もうとし、学習を振り返 りながら課題を追求する。	・修学旅行事前指導 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会	【知識及び技能】 ・諸資料から、第二次世界大戦の推移、凄惨 かつ長期化した背景とその情勢につ いて理解している。 ・諸資料から、大戦末期の日本の状況とそれ を取り巻く米・英・ソの認識、原子爆弾の 投下や帝都空襲、沖縄戦などの背景につ いて理解している。 ・民衆動員が女性や植民地など広大な範囲で 展開されたこと、および戦争の被害、組織 的虐待などで一般市民の大規模な犠牲が生 じたことを理解するとともに、それらの被 害に対して一般民衆はどのように立ち向 かっていったのかを史料から読み解くこと ができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパで始まった第二次世界大戦にア メリカ合衆国と日本はどのようにかかわ ったのか、開戦を防ぐことはできなかった のか考察し、表現している。 ・グルーブワークを通し、第二次世界大戦に 関与した国々の思惑や狙いを考察し、表現 している。 ・日本における民間被害の実態を読み解き、 その特徴や規模について整理、考察してい る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦間期の各国の社会状況経済状況について、見通しをもって 学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求し ようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・ペアワーク等の活動を通して、 国際連合の形成過程や目的、そ の実情や課題を国際連盟と比較 しつつ理解する。 ・アメリカ合衆国の影響、女性や 地主の地位の変化、戦争犯罪人 の処罰、日本国憲法成立過程な ど戦前の政治・社会体制の変革 が求められた理由や経緯を理解 する。 ・冷戦の始まりに関する歴史的背 景や展開、核開発競争が今後ど のように行われていくのかを理 解する。 ・この当陸のアメリカ合衆国が	・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の 動向 ・日本の独立と日米安全保障条約 ・現代と私たち	【知識及び技能】 ・ペアワーク等の活動を通して、国際連合の 形成過程や目的、その実情や課題を国際連 盟と比較しつつ理解している。 ・アメリカ合衆国の影響、女性や地主の地位 の変化、戦争犯罪人の処罰、日本国憲法成 立過程など戦前の政治・社会体制の変革が 求められた理由や経緯を理解している。 ・冷戦の始まりに関する歴史的背景や展開、 核開発競争が今後どのように行われていく かを理解している。 ・この当時のアメリカ合衆国が行った政策と 関連付けながら、日米安全保障条約の意義 課題について理解している。 ・市民・産業革命や明治維新など、 1学期の学習範囲以前の社会的重し				

3 学 期	・このころのアメリカ合衆国が行った政策と関連付けながら、日米安全保障条約の意義と課題について理解する。 ・市民・産業革命や明治維新など、1学期の学習範囲以前の歴史的事象 について、これまでの学習を振り返り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アメリカ合衆国が第二次世界大戦前と比較してどのような役割を果たしたのか考察し、表現する。 ・戦後の改革が今の私達の生活にどのように結びついているのかを考察し、表現する。 ・アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びつけたり比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 ・独立後の日本の米軍基地および復帰前の米軍基地をめぐる問題の共通点と相違点を本校付近に位置している横田基地を参考に考察する。 ・市民・産業革命や明治維新など、1学期の学習範囲以前の歴史的事象 について、多面的・多角的に考察し、それを基に議論したり説明を行うことができる。	・このころの日本が、日米安全保障条約の意義と課題について、これまでの学習を振り返り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アメリカ合衆国が第二次世界大戦前と比較してどのような役割を果たしたのか考察し、表現する。 ・戦後の改革が今の私達の生活にどのように結びついているのかを考察し、表現する。 ・アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びつけたり比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 ・独立後の日本の米軍基地および復帰前の米軍基地をめぐる問題の共通点と相違点を本校付近に位置している横田基地を参考に考察する。 ・市民・産業革命や明治維新など、1学期の学習範囲以前の歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、それを基に議論したり説明を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦後の国際情勢について、日本を中心に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 ・より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方を生かそうとする。	○	○	○	21
	定期考査		○	○		1
						105

都立拝島高等学校 令和6年度

教科

数学

科目

数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1 ～ 6 組：高須、福家、中山)

(7 組：古家、福家

使用教科書： (新編数学Ⅱ 数研出版

)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 式と証明 【知識及び技能】 式の形に着目して変形し、3次式の因数分解の公式を適用する形にすることができる。 【思考・判断力、表現力】 多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。	第1節 式と証明 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式	【知識・技能】 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	12
		第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	【知識・技能】 実数の大小関係の基本性質に基づいて、自明な不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 比例式を含む等式の証明を通じて、加比の理に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第2章 複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数の相等の定義を理解している。 【思考・判断力、表現力】 異なる2つの実数 α 、 β が正の数、負の数、異符号であることを、同値な式で表現できる。 【学びに向かう力、人間性】 多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。	第1節 複素数と2次方程式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係	【知識・技能】 複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。 【思考・判断・表現】 判別式を利用して、2次方程式の解の種類を判別することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。	○	○	○	12
		第2節 高次方程式 4 剰余の定理と因数分解 5 高次方程式	【知識・技能】 剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 【思考・判断・表現】 高次方程式が解 α をもつことを、式を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	5

2 学 期	第3章 図形と方程式 【知識及び技能】 x 軸に垂直な直線は $y=mx+n$ の形に表せないことを理解している。 【思考・判断力、表現力】 直線が x, y の1次方程式で表されることを理解している。 【学びに向かう力、人間性】 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。	第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係	【知識・技能】 数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 【思考・判断・表現】 図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第3章 図形と方程式 【知識及び技能】 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 【思考・判断力、表現力】 円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】 点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	第2節 円 5 円と方程式 6 円と直線 7 2つの円	【知識・技能】 2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径から、円の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2つの円の交点を通る円の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。	○	○	○	10
		第3節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	【知識・技能】 連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思考・判断・表現】 不等式の満たす解を、座標平面上の点の集合としてみることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 少し複雑な不等式の表す領域についても、興味をもち、取り組もうとする。	○	○	○	8
	第4章 三角関数 【知識及び技能】 単位円周上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。 【思考・判断力、表現力】 三角比の定義を、三角関数の定義に一般化することができる。 【学びに向かう力、人間性】 弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。	第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数を含む方程式	【知識及び技能】 扇形の弧の長さや面積の公式を理解している。 【思考・判断力、表現力等】 単位円上の点の動きから、三角関数のグラフを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第4章 三角関数 【知識及び技能】 加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 【思考、判断力、表現力】 角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 【学びに向かう力、人間性】 加法定理の証明について、一般角に対して也成了り立つことに興味をもち、考察しようとする。	第2節 加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用	【知識及び技能】 三角関数の合成について理解している。 【思考、判断力、表現力等】 2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 同じ周期をもつ2つの関数 $y=\sin x$ と $y=\cos x$ を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。	○	○	○	10
	第5章 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数と対数とを相互に書き換えることができる。 【思考、判断力、表現力】 指数法則から、対数の性質を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】 指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数	【知識・技能】 指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。	○	○	○	9
		第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	【知識・技能】 対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 【思考・判断・表現】 対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実世界の問題を、常用対数を用いて考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第6章 微分法と積分法 【知識及び技能】 定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 【思考、判断力、表現力等】 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】 積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。	第1節 微分法 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式	【知識・技能】 微分係数の図形的意味を理解している。 【思考・判断・表現】 導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 曲線の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。	○	○	○	10
		第2節 関数の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用	【知識・技能】 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。	○	○	○	10
		第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と面積	【知識・技能】 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 【思考・判断・表現】 面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (高須智人)

使用教科書： (新編数学B 数研出版)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数理化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づき判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 等差数列・等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする 【学びに向かう力、人間性等】 等比数列・等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	【知識及び技能】 数列の定義・表記について理解している。等差・等比数列の公差・公比、一般項などを理解している。等差・等比数列の和の公式を適切に理解して求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。等差・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並びに興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。等差・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 和の記号Σの表し方や性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 工夫して求める方法に興味をもち、公式を導こうとする意欲がある。	第2節 いろいろな数列・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和	【知識・技能】 記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単にを行うことができる。数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工夫して求める方法に興味をもち、公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	第3節 漸化式と数学的帰納法 ・漸化式 ・数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 【思考・判断・表現】 初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。複雑な漸化式をおき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について考察しようとする。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 分布の特徴を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 ・確率変数と確率分布 ・確率変数と期待値と分散 ・確率変数の和と積	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。確率変数の確率分布を求めることができる。確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 思考の結果を確立分布で表すことの意味がとらえられている。確率変数の期待値、分散、標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などをもとめることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 分布の特徴を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	・二項分布 ・正規分布	【知識・技能】 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。日常の身近な問題を統計的に処理するのに、正規分布を利用できる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。正規分布の特徴を理解し、様々な視点からとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的な事項について考察しようとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 母集団と標本、標本平均について理解することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	第2節 統計的な推測 ・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定	【知識・技能】 標本平均が確率変数であることを理解している。母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。推定や信頼区間の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのなぜかに興味をもち、特徴を調べたり考えたりしようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教 科： 数学 科 目： 数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1 組・3 組・5 組～7 組：由良彩穂里 2 組：福家由美 4 組：松谷幸）

使用教科書： （ 新編数学Ⅰ 数研出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方や考え方を数学的活動を通じて涵養し、思考する能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 直角三角形の正弦・余弦・正接を求めることができる。 三角比の表から、正弦・余弦・正接の値を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの問題に利用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比を測量などの問題に利用しようとする。 定期考査	第4章 三角比 三角比 【知識及び技能】 直角三角形の正弦・余弦・正接を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の表の読み取り 測量への利用 【学びに向かう力、人間性等】 測量への利用	【知識及び技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接を求めることができる。 三角比の表から、三角比の値を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの問題に利用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比を測量などの問題に利用しようとする。	○		○	14
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 鈍角まで拡張した三角比を求めることができる。 相互関係を利用できるようになる。 三角比の値から、 θ を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 三平方の定理を利用して、三角比の相互関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。 三角比の値から θ を求めるとき、図を利用しようとする。 定期考査	三角比の相互関係 三角比の拡張 【知識及び技能】 鈍角の三角比 三角比の相互関係 等式を満たす θ 【思考力、判断力、表現力等】 鈍角への拡張 等式を満たす θ 【学びに向かう力、人間性等】 図を用いた鈍角への拡張 図を用いた等式を満たす θ の考察	【知識及び技能】 0° から180° までの三角比の値を求めることができる。 相互関係を利用し、残りの三角比の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 種々の考察に、積極的に図を利用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 箱ひげ図をかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 定期考査	第5章 データの分析 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 【知識及び技能】 度数分布表 ヒストグラム 平均値 最頻値 中央値 範囲 四分位範囲 四分位数 箱ひげ図 【思考力、判断力、表現力等】 代表値の特性 箱ひげ図とヒストグラムの関係 【学びに向かう力、人間性等】 集団の特性の考察 代表値の意味についての考察 データの散らばりの数値化	【知識及び技能】 データを度数分布表やヒストグラムにまとめることができる。 平均値や中央値、最頻値を求めることができる。 範囲や四分位範囲、四分位数を求めることができる。 箱ひげ図をかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの特性によって、どの代表値が適切か考察することができる。 データの散らばり数値化することで、集団の特性を比較することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	【知識及び技能】 分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらを求めることができる。 相関係数の定義とその意味を理解し、求めることができる。 分割表の意味を理解し、問題解決に活用することができる。 仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて説明することができる。 仮説検定の考え方を利用して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。 相関関係と因果関係の違いについて考察しようとする。 表計算ソフトを用いて、実際のデータから平均値や分散、標準偏差、相関係数などを求め、2つの変量の相関について考察しようとする。	分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方 【知識及び技能】 偏差 分散 標準偏差 散布図 相関関係 相関係数 分割表 仮説検定 【思考力、判断力、表現力等】 散布図を用いた相関に関する考察 仮説検定の考え方をを用いた妥当性の判断 【学びに向かう力、人間性等】 相関関係の数値化についての考察 表計算ソフトの活用	【知識及び技能】 分散、標準偏差を求めることができる。 相関係数を求めることができる。 データを分割表にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えることができる。 仮説検定の考え方を利用して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相関の強弱を数値化する方法について考察しようとする。 相関関係と因果関係の違いについて考察しようとする。 表計算ソフトを用いて、実際のデータから平均値や分散、標準偏差、相関係数を求め、2つの変量の相関について考察しようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求めることができる。 余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 三角比を用いた三角形の面積を求める公式について理解している。 3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 正弦定理を導くことができる。 余弦定理を導くことができる。 三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】 正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 三角形の内接円と面積の関係を考察しようとする。	第4章 図形と計量 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 【知識及び技能】 正弦定理 余弦定理 三角形の面積の公式 内接円の半径と三角形の面積 【思考・判断・表現力】 正弦定理の導出 余弦定理の導出 三角比を用いた三角形の面積の公式の導出。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理の図形的な意味	【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求めることができる。 余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 三角形の3辺の長さから内接円の半径を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦定理を導くことができる。 余弦定理を導くことができる。 三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

都立拝島高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 理科 科目 物理基礎

教科 理科 科目 物理基礎 単位数 2 単位

対象学年組 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者 (1 組: 大浦) (2 組: 大浦) (3 組: 大浦) (4 組: 大浦) (5 組: 大浦) (6 組: 大浦) (7 組: 大浦)

使用教科書 (高校物理基礎 実教出版)

教科 理科 の目標

【知識及び技能】実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につける。

【思考力、判断力、表現力等】中学校で学習した理科(第一分野)との結びつきを基礎として、根拠に基づいた自分の考えを持ち表現すること

【学びに向かう力、人間性等】社会の中における理科の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

科目 物理基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につけるとともに、物理学の基本的な概念や社会での役割を理解し考えることができる。	中学校で学習した理科(第一分野)との結びつきを基礎として、化学的な根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。	社会の中における物理学の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 物体の運動 【知識及び技能】 実験室の仕方、安全面について理解する。実験結果から力学の基本的な概念を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えを話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中における物理学の役割に興味を持つ。	・速さとその表し方・等速直線運動・速さと速度変化・速度の合成と相対速度・加速度・等加速度直線運動・落下運動・力・力の合成分解・力のつりあい・作用反作用・慣性の法則・運動の法則・運動方程式・摩擦力・圧力と浮力	【知識・技能】 実験の方法、安全面について理解して。力学の基本的な概念を獲得している。 【思考・判断・表現】 課題について、自分の考えを他人に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に取り組んでいる。社会の中における物理学の役割に興味を持っている。	○	○	○	14
	B エネルギー 【知識及び技能】 実験室の仕方、安全面について理解する。実験結果からエネルギーの基本的な概念を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えを話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中における物理学の役割に興味を持つ。	・仕事・仕事の性質と仕事率・運動エネルギー・重力場の位置エネルギー・弾性エネルギー・力学的エネルギー保存の法則・温度と熱・温度変化に必要な熱量・熱と仕事・熱機関の効率	【知識・技能】 実験の方法、安全面について理解して。エネルギーの基本的な概念を獲得している。 【思考・判断・表現】 課題について、自分の考えを他人に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に取り組んでいる。社会の中における物理学の役割に興味を持っている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 波 【知識及び技能】 実験室の仕方、安全面について理解する。実験結果から波動の基本的な概念を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えを話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中における物理学の役割に興味を持つ。	・波とは何か・波の性質・横波と縦波・波の重ね合わせの原理・定常波・波の反射・波の屈折・音の伝わり方・減の振動・気柱の共鳴	【知識・技能】 実験の方法、安全面について理解して。波動の基本的な概念を獲得している。 【思考・判断・表現】 課題について、自分の考えを他人に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に取り組んでいる。社会の中における物理学の役割に興味を持っている。	○	○	○	14
	D 電気 【知識及び技能】 実験室の仕方、安全面について理解する。実験結果から電気の基本的な概念を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えを話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中における物理学の役割に興味を持つ。	・静電気と電子・電流と電気抵抗・抵抗の接続・低効率・電力と電力量・磁場・電磁誘導・変圧と送電・電磁波	【知識・技能】 実験の方法、安全面について理解して。電気の基本的な概念を獲得している。 【思考・判断・表現】 課題について、自分の考えを他人に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に取り組んでいる。社会の中における物理学の役割に興味を持っている。	○	○	○	15
	定期考査	・エネルギーの変換と私たちの暮らし		○	○		1
3 学期	E 物理と社会 【知識及び技能】 物理学と社会のかかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えを話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中における物理学の役割に興味を持つ。	・エネルギーの変換と私たちの暮らし・電気エネルギーへの変換・原子核エネルギー・放射線・科学的に判断すること	【知識・技能】 物理学と社会のかかわりについて理解している。 【思考・判断・表現】 課題について、自分の考えを他人に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に取り組んでいる。社会の中における物理学の役割に興味を持っている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 新様式例

都立拝島高等学校

令和6年度

教科

理科

科目

生物基礎

教科 理科

科目 生物基礎

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：佐藤公一）（2組：佐藤公一）（3組：佐藤公一）（4組：佐藤公一）（5組：佐藤公一）（6組：佐藤公一）（7組：佐藤公一）

使用教科書：（ 高校生物基礎 実教出版 ）

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につける。
【思考力、判断力、表現力等】中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】社会の中における理科の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を育む。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養う。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の多様性と共通性 【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解させる。 【思考・判断・表現】 ・生物に共通する性質を見いだし、生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解し、表現できる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解させる。	・指導事項 1. 生物の多様性と共通性 2. 生物の共通性と進化 3. 細胞・細胞の観察 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識・技能】 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを説明できる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解しようとする。	○	○	○	8
	B 細胞とエネルギー 【知識及び技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解させる。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できるようにする。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解させる。また、呼吸や光合成から得ていることを理解させる。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解させる。	・指導事項 1. 代謝とエネルギー 2. 酵素と代謝 3. 光合成 4. 呼吸 5. エネルギーの流れ ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解させる。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いださせる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解させる。 ・ゲノムを遺伝子、染色体、DNAの関係について理解させる。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし、理解させる。	・指導事項 1. 遺伝子の本体 2. DNAの複製と分配 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし、理解しようとする。	○	○	○	8
	D 遺伝情報とタンパク質 【知識及び技能】 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解させる。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解させる。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できるようにする。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解させる。	・指導事項 1. 遺伝子とタンパク質 2. タンパク質の合成 3. 遺伝子の発現 4. ゲノムと遺伝子 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解している。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	2 体内環境 【知識及び技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解させる。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解させる。 ・解剖など生体を取り扱う技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・恒常性により、体内環境が保たれていることを考察できるようにする。 ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解させる。 ・腎臓による塩類濃度調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解させる。	・指導事項 1. 体内環境と恒常性 2. 体液とその働き 3. 体液の調節 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・解剖など生体を取り扱う技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・恒常性により、体内環境が保たれていることを考察することができる。 ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 ・体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解しようとする。 ・腎臓による塩類濃度調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解しようとする。	○	○	○	6
	2 体内環境の維持のしくみ 【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解させる。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得させる。 ・実験により得られたデータと比較・分析することにより、結論を導き出すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。 ・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解させる。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見だし、理解させる。	・指導事項 1. 情報の伝達 2. 自律神経による情報伝達 3. 内分泌系による調節 4. 内分泌系と自律神経による調節 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 ・実験により得られたデータと比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解しようとする。 ・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解しようとする。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見だし、理解しようとする。	○	○	○	6
	3 免疫 【知識及び技能】 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを理解させる。 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解させる。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解させる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができるようにする。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察できるようにする。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解させる。	・指導事項 1. 生体防御と免疫 2. 自然免疫 3. 獲得免疫のしくみ 4. 免疫と疾患 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを理解している。 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	4 生態系とその成り立ち 【知識及び技能】 ・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解させる。 ・植生の遷移についてその過程を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生の成り立ちが、林内の光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けていることを考察することができるようにする。 ・資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解することができるようにする。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、植生にどのような影響を与えるかを理解させる。	・指導事項 1. 生態系 2. 植生とその変化 3. 遷移のしくみ ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生の成り立ちが、林内の光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けていることを考察することができる。 ・資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解しようとする。 ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのような影響を与えるかを理解しようとする。	○	○	○	7
	5 植生とバイオーム 【知識及び技能】 ・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物が、その場所の気温や降水量に適応していることを理解させる。	・指導事項 1. 世界のバイオームとその分布 2. 日本のバイオーム ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。 ・バイオームの構成要素である植物が、その場所の気温や降水量に適応していることを理解しようとする。	○	○	○	4
	6 生態系と生物の多様性 【知識及び技能】 ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかりあいについて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系内における生物の種多様性を見いだすことができるようにする。 ・生物の多様性を食物網や間接効果と関連付けて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系において、物質が循環すること及びそれによってエネルギーが移動することを理解させる。	・指導事項 1. 生物の多様性 2. 生物どうしのかかりあい ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかりあいについて理解している。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系内における生物の種多様性を見いだすことができる。 ・生物の多様性を食物網や間接効果と関連付けて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系において、物質が循環すること及びそれによってエネルギーが移動することを理解しようとする。	○	○	○	4
	7 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解させる。 ・インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができるようにする。 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系のバランスについてや、生態系の保全することが重要であることを理解し、認識させる。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われるようにする。	・指導事項 1. 生態系のバランス 2. 人間生活による環境への影響 3. 生態系の保全の重要性 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ	【知識及び技能】 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系のバランスについてや、生態系の保全することが重要であることを理解しようとし、認識している。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組 男子

教科担当者： (1 組：日野、野口 (2 組：日野、野口) (3 組：日野、野口 (4 組：日野、野口 (5 組：日野、野口 (6 組：日野、野口 (7 組：日野、野口

使用教科書： ()

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に関与することを目指す。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体 つ くり 運 動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・いかだ流し ・全員リレー	A 体 つ くり 運 動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水 泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
2 学 期	D アルティメット 【知識及び技能】アルティメットのルール等を理解するとともに、ディスクのスロー、キャッチなど基本動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決へ向け練習等を工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 アルティメットの楽しさや喜びを味わうとともに、学習に主体的に取り組む態度を養う。	・スローイング、キャッチング ・ゲームのルールの理解	E 球 技	・アルティメットの特性を理解するとともに、スローイング、キャッチングなどの基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	14
	E 柔道 【知識及び技能】柔道のルール等を理解するとともに、礼法、受け身、体さばき、投げ技などの基本動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自の課題を見つけ、その解決へ向け練習等を工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 柔道の楽しさや喜びを味わうとともに、相手を尊重し学習に主体的に取り組む態度を養う。	・礼法 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身 ・投げ技（大腰、体落としなど）	F 武 道	・武道の特性や、礼法、所作等を理解し、尊重することができる。 ・自分の課題を設定し、その解決に向け、動き等を工夫することができる。 ・武道に対して真摯に向き合い、相手を尊重することで自他共栄の精神を実践することができる。	○	○	○	14
3 学 期	G 体育理論 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の状況によって体力の向上を図る能力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	・スポーツの発症と発展 ・運動・スポーツの学び方 ・豊かなスポーツライフの設計	体育理 論	・スポーツの特徴、歴史、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	H 長距離走 【知識及び技能】 ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリ	・距離走 ・ペース走		・ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする ことができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向				

	ズミカルな走りをする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う	C 陸上競技	けて練習等を工夫することができる。 ・陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	8
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組 女子

教科担当者：(1組：野々垣、笹 (2組：野々垣、笹 (3組：野々垣、笹 (4組：野々垣、笹 (5組：野々垣、笹 (6組：野々垣、笹 (7組：野々垣、笹

使用教科書：()

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に関与することを目指す。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体つくり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・大縄跳び ・全員リレー	A 体つくり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
2 学期	D バレーボール 【知識及び技能】 ゲームのルールや技術について理解するとともに、オーバーパス、アンダーパス等の基本的な動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組む態度を育む。	・オーバーパス、アンダーパス ・ ・ゲームのルールの理解	E 球技	・ゲームのルールや技術について理解するとともに、投げる、捕る、打つ等の基本的な動作を身に付けることができる。 ・自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法を工夫することができる。 ・仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	14
	E ダンス 【知識及び技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 創作したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができるようになる。	・ステップ ・ターン ・カノン ・ユニゾン ・創作ダンス ・グループ発表	G ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。 ・創作したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	14
	G 体育理論 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の状況によって体力の向上を図る能力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	・スポーツの発症と発展 ・ターン ・豊かなスポーツライフの設計	体育理論	・スポーツの特徴、歴史、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	H 長距離走 【知識及び技能】 ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリ	・距離走 ・ペース走		・ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする ことができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向				

	ズミカルな走りをする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う	C 陸上競技	けて練習等を工夫することができる。 ・陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	8
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度（１・２学年用） 教 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： １ 単位

対象学年組： 第 ２ 学年 １ 組～ ７ 組

教科担当者： （１組：野口） （２組：笹原） （３組：伊藤） （４組：伊藤） （５組：笹原） （６組：野口）
（７組：笹原）

使用教科書：（新高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】健康を保持増進するための管理の重要性和環境

【思考力、判断力、表現力等】生活の質の向上に向けた課題解決

【学びに向かう力、人間性等】健康の課題解決に向けた学習に主体的に取り組む態度

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。	生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期には、心身の発達に伴い健康課題が生じることなどについて理解し、内容をワークシートなどにまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期と健康について、自他や社会の課題を発見し、内容をワークシートなどにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークの中で積極的に発言し、思春期の健康について意見交換することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 思春期の心身の発達と健康課題への理解 【思考・判断・表現】 思春期の健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4
	B 性意識の変化と性行動の選択 【知識及び技能】 性意識の個人差について理解し、自分の行動への責任感や性のあり方の理解と尊重の必要性などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 性に関する意思決定・行動選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期における性に関する意思決定・行動選択の課題を発見し、その対策について考え行動する。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 性意識の個人差・男女差についての理解 【思考・判断・表現】 性情報の扱い・受け取り方についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 アンケートやペアワーク、グループワークへの取り組み状況	○	○	○	4
	C 結婚生活と健康 【知識及び技能】 夫婦や親子の良好な関係を築き、安定した結婚生活を送るために必要な要因について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠や出産、育児を含む結婚生活における健康課題を発見し、その対策について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 安定した結婚生活を送るための要因や結婚生活における健康課題についてグループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 安定した結婚生活を送るために必要な要因についての理解 【思考・判断・表現】 結婚生活における健康課題とその対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	3
	D 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 受精から出産までの過程をそれに伴う健康課題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠や出産の過程で起こり得る健康課題の対策について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産の過程で起こり得る健康課題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言できる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 受精から出産までの過程とそれに伴う健康課題についての理解 【思考・判断・表現】 妊娠や出産の過程で起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	A 家族計画 【知識及び技能】 家族計画の意義とその重要性について、また、避妊の方法についてきちんと理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族計画を立てる上での注意点や健康課題について理解し、そのことについてグループワークなどで発言できる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 家族計画の意義とその重要性について、避妊の方法についての理解 【思考・判断・表現】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	B 加齢と健康、高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 若者と高齢者が社会において交流し、お互いを理解する具体的な方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題について理解し、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題についての理解 【思考・判断・表現】 若者と高齢者の交流についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4
	C 働くことと健康 【知識及び技能】 働くことの意義と働き方の多様化について理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 働き方が多様化している現代における働く人の健康課題について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 働く人の健康課題について考え、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 働く意義と働き方の多様化についての理解 【思考・判断・表現】 働く人の健康課題に関する考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 労働災害の防止、働く人の健康づくり 【知識及び技能】 労働災害の防止方法とメンタルヘルスクエアが重要視されていることなどについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害防止のために必要な個人的・社会的対策について考えられる。また、働く人の生活の質向上について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害防止方法や生活の質向上についてグループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 家族計画の意義とその重要性について、避妊の方法についての理解 【思考・判断・表現】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	3
	B 環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動が公害を引き起こし、健康被害をもたらすことがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球規模の環境問題への個人と社会での対策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 公害と環境問題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 四大公害はじめとする公害問題と環境問題への理解 【思考・判断・表現】 環境問題への個人的・社会的な対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	3
	C 健康被害を防ぐための環境対策 【知識及び技能】 環境汚染による健康被害の予防策について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境汚染対策について考え評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境汚染による健康被害の予防策について理解し、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 環境汚染による健康被害の予防策への理解 【思考・判断・表現】 環境汚染対策に関する評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1 合計 35

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴き、感受した内容を言語化したりする能力を身に付ける。	・音楽の幅広い活動に主体的・協働的に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 表現 (1) 歌唱 【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を感じ取り、主体的に表現しようとする。	校歌 日本歌曲	○			【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌っているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を感じ取り、主体的に表現しようとしているか。		○	○	○	14
	A 表現 (2) 器楽：ピアノ 【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解する。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができる。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	日本の童謡 ポップス曲など		○		【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解しているか。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができるか。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。		○	○	○	16
2 学 期	A 表現 (2) 器楽：ギター 【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いをする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音色を知覚し、正確なリズムで演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	コード（C, D, G, Em, Am） J-POP曲など		○		【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音色を知覚し、正確なリズムで演奏できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。		○	○	○	16
	B 鑑賞 西洋音楽の歩み 【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴く。	バロック、古典派、ロマン派、近現代までを扱う。			○	【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴いているか。		○	○	○	14
	A 表現 アンサンブルの楽しみ 【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解する。	ボディパーカッション ヴォイスパーカッション 器楽合奏				【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】					10

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫する。	○	○	○	・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫しようとしているか。	○	○	○	計 70
	【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しむ。				【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しもうとしているか。				

[illegible]

書道Ⅱ

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○		○		○	○	○	6
	漢字の書 臨書	・教科書		○		○		○	○	○	6
	漢字の書 創作	・各自で用意			○				○	○	6
											6
2 学 期	仮名の書 臨書	・教科書				○ ○		○	○	○	10
	仮名の書 創作	・各自で用意				○			○	○	10
3 学 期	漢字仮名交じりの書	・教科書		○		○		○	○	○	8
	漢字仮名交じりの書	・各自で用意		○	○	○ ○			○	○	6
合 計 70											

都立拝島高等学校 令和6年度(1・2学年用) 教科 情報 科目 情報I

教科: 情報 科目: 情報I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者: (1組: 梶原) (2組: 梶原) (3組: 梶原) (4組: 梶原) (5組: 梶原) (6組: 梶原)
(7組: 梶原)

使用教科書: (情報I Step Forward!)

教科 情報 の目標:

【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

科目 情報I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	第1章 情報社会 【知識及び技能】 情報社会の現状や、特性、モラルなどについて知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1 情報とその特性 2 メディアとその特性 3 問題を解決する方法 4 情報の収集とその分析 5 解決方法の考案 6 知的財産 7 個人情報 8 情報セキュリティ 9 情報モラルと個人の責任 10 情報技術の進歩と役割 11 情報技術が社会に与える光と影	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況		○	○	○	14
	第2章 情報デザイン 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 Webページを作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1 2. コミュニケーションとメディア 1 3. 情報のデジタル化 1 4. 数値の表現 1 5. 2進法の計算 1 6. 文字のデジタル表現	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況		○	○	○	13
2 学 期	第2章 情報デザイン 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 Webページを作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】	1 7. 音のデジタル表現 1 8. 画像のデジタル表現 1 9. データの圧縮 2 0. デジタルデータの特徴 2 1. メディアと文化の発展 2 2. ネットコミュニケーションの特徴 2 3. 情報デザイン 2 4. 操作性の向上と情報技術 2 5. 全ての人に伝わるデザイン 2 6. コンテンツ設計	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況		○	○	○	14
	第3章 プログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 変数や関数を使用したプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	2 7. コンピュータの構成 2 8. ソフトウェア 2 9. 処理の仕組み 3 0. 論理回路 3 1. アルゴリズムの表現 3 2. アルゴリズムの効率性 3 3. プログラムの仕組み 3 4. プログラミング入門 3 5. プログラムの応用 3 6. 問題のモデル化 3 7. モデル化の活用 3 8. シミュレーション 3 9. シミュレーションの活用	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況		○	○	○	13
3 学 期	第4章 ネットワークの活用	4 0. 情報通信ネットワーク 4 1. デジタル通信の仕組み 4 2. インターネットの利用 4 3. 安全安心を守る仕組み 4 4. 情報システム 4 5. さまざまな情報システム 4 6. 情報システムの信頼性 4 7. データの活用とデータベース 4 8. データの管理 4 9. データの収集と種類 5 0. データの分析 5 1. 不確実な事象の解決 5 2. 2つのデータの関係	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況		○	○	○	16
							合計	70

都立坪島高等学校 令和6年度（1・2学年用） 教外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1組：長野・菊地・竹村）（2組：竹村・菊地・長（3組：長野・竹村・菊地）（4組：笠木・竹村・長野）
（5組：竹村・長野・菊地）（6組：笠木・長野・竹村）（7組：長野・竹村・菊地）

使用教科書：VISTA Communication EnglishⅡ（三省堂） VISTA Communication EnglishⅡ（三省堂） be English Grammar23
workbook（いっずな書店） フレーズで英単語 Cheer 3000（いっずな書店） Big Dipper English Expression（数研出版）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこ
と、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに
応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国
語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用
して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体
的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどの理解を深めるととも に、実際のコミュニケーションにおいて、目的 や場面、状況などに応じて適切に活用できる技 能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況な どに応じて、基礎的・基本的な話題について外 国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話 し手や書き手の意図などを的確に理解したり、 これらを活用して基礎的な内容を適切に表現し	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しなが ら、基礎的・基本的なことを、主体的、自律的 に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう とする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	[World Dance Performance] 【知識及び技能】 動詞＋目的語＋to 不定詞・疑問詞 ＋to 不定詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞＋目的語＋to 不定詞・疑問詞 ＋to 不定詞を用いて、身近な様子 や状況を描写し、相手に伝えられ るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の伝統舞踊について、その違 いや文化との結びつきについて考 えさせる。	・各国の伝統舞踊について、その 違いや文化との結びつきを知る。 ・動詞＋目的語＋to 不定詞・疑問 詞＋to 不定詞を 理解する。 ・ダンスやりとりする。	・各国の伝統舞踊について、聞いて概要を把 握できる。 ・各国の伝統舞踊について、読んで概要を把 握できる。 ・各国の伝統舞踊について、話して伝え合 うことができる。 ・動詞＋目的語＋to 不定詞・疑問詞＋to 不 定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、 相手に伝えることができる。	○	○	○	12
	[A Piece of Cake] 【知識及び技能】 疑問詞で始まる節、ifで始まる節 を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 疑問詞で始まる節、ifで始まる節 を用いて、身近な様子や状況を描 写し、相手に伝えられるようにす る。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の伝統舞踊について、その違 いや文化との結びつきについて考 えさせる。	・ことわざや言語表現の国による 違いを知る。 ・疑問詞で始まる節、ifで始まる 節を 理解する。 ・ことわざや言語表現についてや りとりする。	・ことわざや言語表現について、聞いて概要 を把握できる。 ・ことわざや言語表現について、読んで概要 を把握できる。 ・ことわざや言語表現について、話して伝え 合うことができる。 ・疑問詞で始まる節、ifで始まる節を用い て、身近な様子や状況を描写し、相手に伝え ることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	[Quokka] 【知識及び技能】 使役動詞、知覚動詞を理解させ る。 【思考力、判断力、表現力等】 使役動詞、知覚動詞を用いて、身 近な様子や状況を描写し、相手に 伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 絶滅危惧種のクオッカを通じて、 自然環境について理解を深める。	・絶滅危惧種のクオッカを通じ て、自然環境について知る。 ・使役動詞、知覚動詞を 理解す る。 ・自然環境についてやりとりす る。	・絶滅危惧種のクオッカや自然環境につい て、聞いて概要を把握できる。 ・絶滅危惧種のクオッカや自然環境につい て、読んで概要を把握できる。 ・絶滅危惧種のクオッカや自然環境につい て、話して伝え合うことができる。 ・使役動詞、知覚動詞を用いて、身近な様子 や状況を描写し、相手に伝えることができ る。	○	○	○	15
	[Designing Stamps] 【知識及び技能】 形式主語it、形式目的語itを理解さ せる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語it、形式目的語itを用い て、身近な様子や状況を描写し、 相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 玉木氏の職業への意識と切手デザ インを通じた文化の紹介について 考えさせる。	・玉木氏の職業への意識と切手デ ザインを知る。 ・形式主語it、形式目的語itを 理 解する。 ・職業と文化についてやりとりす る。	・職業と文化について、聞いて概要を把握で きる。 ・職業と文化について、読んで概要を把握で きる。 ・職業と文化について、話して伝え合うこ とができる。 ・形式主語it、形式目的語itを用いて、身近 な様子や状況を描写し、相手に伝えることが できる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【Mont-Saint-Michel】 【知識及び技能】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みを考えさせる。	・世界遺産をとりまく歴史と環境について学び、その継承について知る。 ・現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を理解する。 ・モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについてやりとりする。	・モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについて、聞いて概要を把握できる。 ・モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについて、読んで概要を把握できる。 ・世界遺産をとりまく歴史と環境について、話して伝え合うことができる。 ・現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				13
	【Smart Agriculture】 【知識及び技能】 現在完了の受け身、助動詞＋受け身を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了の受け身、助動詞＋受け身を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スマート農業に用いられる先端技術を通じて、未来の農業について考えさせる。	・スマート農業について知る。 ・現在完了の受け身、助動詞＋受け身を理解する。 ・先端技術を用いた社会的課題の解決についてやりとりする。	・スマート農業について、聞いて概要を把握できる。 ・スマート農業について、読んで概要を把握できる。 ・先端技術を用いた社会的課題の解決について、話して伝え合うことができる。 ・現在完了の受け身、助動詞＋受け身を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				15
	定期考査			○	○		1
	【A Martial Art on Tatami】 【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 競技かるたを通して、日本文化について考えさせる。	・競技かるたを通して日本文化を知る。 ・関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを理解する。 ・日本文化についてやりとりする。	・競技かるたについて、聞いて概要を把握できる。 ・競技かるたについて、読んで概要を把握できる。 ・競技かるたについて、話して伝え合うことができる。 ・関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	13
【Biologging】 【知識及び技能】 分詞構文、強調構文を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バイオリギングの研究を通して動物や自然環境について考えさせる。	・バイオリギングの研究を知る。 ・分詞構文、強調構文を理解する。 ・動物や自然環境についてやりとりする。	・バイオリギングについて、聞いて概要を把握できる。 ・バイオリギングについて、読んで概要を把握できる。 ・動物や自然環境について、話して伝え合うことができる。 ・分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	15	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	【The Open Window】 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	8
	【The Christmas Truce】 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				9
	【My Dream】 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 野口氏が子供のころに書いた作文の内容について考えさせる。	・作文の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・作文を聞いて概要を把握できる。 ・作文を読んで概要を把握できる。 ・野口氏が子供のころに書いた作文について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				8
	定期考査			○	○		1 合計 140

都立拝島高等学校 令和6年度(1・2学年用)

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：(1組：長野) (2組：竹村) (3組：小泉) (4組：高須) (5組：竹澤) (6組：野口)
(7組：高野)

使用教科書：()

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 遠足事前指導	・遠足についての事前学習					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	B 体育祭練習	・体育祭の意義を理解する。 ・集団行動、協調性とは何かを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	5
	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	8
	沖縄の歴史・文化・海	沖縄の歴史・文化・海について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	2
2 学 期	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	D 進路	進路に対する意識を高める。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	2
	沖縄の歴史・文化・海	沖縄の歴史・文化・海について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	2

[illegible]